

避難行動ガイド①

分散避難 避難所(避難場所)に行くことだけが避難ではありません。避難所の密集を避けるためにも、状況に応じた「分散避難」という取組も重要になってきています。

避難所(避難場所)への避難

- 自宅の水害・土砂災害の危険性が高い。
 - 避難できる親戚・知人宅がない。
- 市町村が開設した避難所(避難場所)へ。



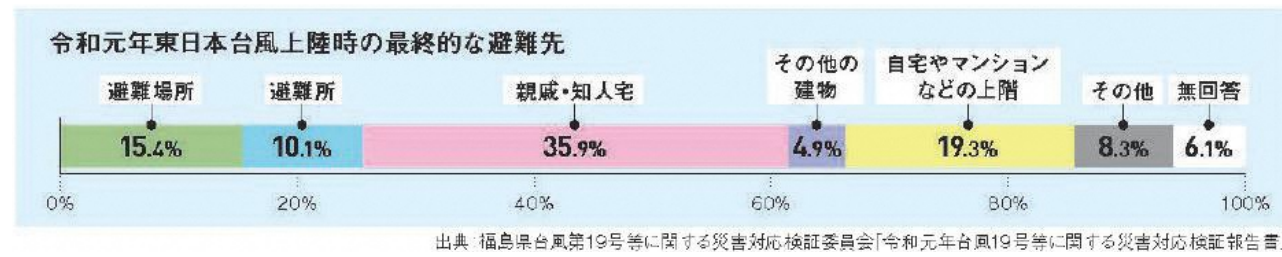
在宅避難

- 「家屋倒壊等氾濫想定区域」に入っていない。
 - 居室が浸水深より高い。
 - 水・食料等の備えが十分で水がひくまで我慢できる。
- 自宅にとどまる。(自宅内の安全な場所へ移動)



親戚・知人宅やホテル・旅館への避難

- 親戚・知人宅やホテル・旅館が水害・土砂災害の危険性が低い。
 - 避難できる親戚・知人宅がある。
- 親戚・知人宅やホテル・旅館に身を寄せる。親戚・知人には日頃から相談しておきましょう。



【車で避難する場合】

水害・土砂災害の危険が迫っている場合、車での避難は危険です。「まだ大丈夫」と移動したのち、急に周辺の水位が上がり、車内から脱出できなくなってしまう可能性があります。

- やむを得ず、車での避難や車中泊を行う場合には、
- 雨がひどくなる前の明るい時間帯に、浸水しない安全な場所に移動しましょう。
 - トイレなどに困る場合がありますので、簡易トイレの準備も必要です。
 - エコノミークラス症候群や熱中症に十分注意し、軽い運動やこまめな水分補給等を行きましょう。



大雨のとき

土砂災害警戒情報が発令され危険が高まった地区に対して、村が設定している基準に達した場合に高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保を発令します。また、高齢者等避難が発令されずに避難指示が発令される場合もあります。

※特に土砂災害警戒区域にお住まいの方は、早め早めに判断をして、「危ない」と思ったら、直ちに危険な区域から離れる自主避難をすることが命を守ることにあります。



地震のとき

大きな地震やそれに伴う余震により家屋が倒壊し、または倒壊するおそれがあるときに避難指示を発令します。

※直ちに避難所を開設するよう努めますが、災害の規模により時間がかかる場合があります。



火災のとき

大規模な延焼拡大のおそれがあるときに、避難指示を発令します。

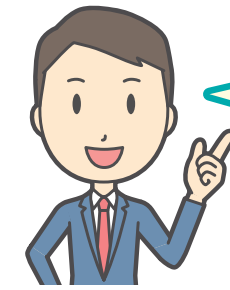


その他

その他災害が発生するおそれがあるときに、避難指示を発令します。

避難行動ガイド②

住民の皆さんが、「自らの命は自らが守る」という意識のもと、自主的な避難を行うために、国・県・村では防災情報を5段階の警戒レベルにより提供します。日頃からいざという時に備えて、災害時の取るべき行動の確認をお願いします。



それぞれの警戒レベルに相当する情報を、早めの避難行動の判断に役立ててください。村からの避難指示等の発令に留意するとともに、避難指示等が発令されていなくとも自らの判断をしてください。警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、警戒レベル3や4の段階で避難することが重要です。

各種災害について、村が発令する避難情報を5段階に整理しています。

| 警戒レベル | 状況 | 住民が取るべき行動 | 行動を促す情報 |
|------------------------------|--------------|------------------|----------------------|
| 5 | 災害発生 又は切迫 | 命の危険 直ちに安全確保! | 緊急安全確保※1 |
| ~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~ | | | |
| 4 | 災害のおそれ高い | 危険な場所から全員避難 | 避難指示 |
| 3 | 災害のおそれあり | 危険な場所から高齢者等は避難※2 | 高齢者等避難 |
| 2 | 気象状況悪化 | 自らの避難行動を確認 | 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁) |
| 1 | 今後気象状況悪化のおそれ | 災害への心構えを高める | 早期注意情報 (気象庁) |

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

Q&A

質問1) 防災気象情報は出てるけど、避難情報が出ていないときはどうすればいいの?
 ⇒村は、さまざまな情報をもとに、避難情報を発令する判断を行うことから、必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報が、同時に発令されるわけではありません。**自らの命は自ら守る意識を持って、防災気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとってください。**

質問2) 洪水で「警戒レベル4相当情報」が既に出ているなかで、土砂災害で「警戒レベル3相当情報」が出たけど洪水のレベルも4から3に下がったということなの?
 ⇒洪水の危険性が4から3に下がったわけではありません。洪水は4のまま、土砂災害の3が追加されたものであり、**その地域は洪水と土砂災害、両方の災害を警戒する必要があります。**

【警戒レベル5】では既に災害が発生しています。
【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。